

令和5年度坂井市総合教育会議 会議録（概要）

日 時：令和5年7月19日（水）午後1時30分より3時15分まで

場 所：坂井市役所 205会議室

【会議日程】

1 協 議

- (1)第二次坂井市教育振興基本計画の進捗状況について
- (2)文化財保存活用地域計画の進捗状況とその取組みについて
- (3)丸岡城周辺整備基本計画の進捗状況とその取組みについて
- (4)歴史的風致維持向上計画について
- (5)ジャパンオープンディスクゴルフ2023を終えて
- (6)その他

【出席者】

池田禎孝市長、林晃司教育長、田中典夫教育長職務代理者、宮崎美恵子委員、橋本明子委員、牧田靖夫委員

総務部 松本総務部長

産業政策部 大久保部長

観光交流課 谷根課長

観光拠点整備推進室 戸田室長

教育部 中田部長、吉村次長(教育総務課長)、古川次長(生涯学習スポーツ課長)、上田教育審議監

学校教育課 宇野課長

文化課 井尻課長

丸岡城国宝化推進室 北林室長

坂井市立図書館 吉田館長

事務局書記 森田参事、高嶋補佐

【会議概要】

市 長 (あいさつ)

こんにちは。先日の大雨で、坂井市にも被害があり、対応している。教育関係のことで言うと、龍翔博物館がオープン、丸岡城国宝化・周辺整備、新しい計画を作っており、文化関係を前に進めていく時期かと思っている。また、市内5中学校へ伺い、校長と話をする中で、私からお願いしたのは、コロナ禍も明けて来たので、いろいろな活動を活発化させてほしいということだ。例えば、職業教育、修学旅行、地域活動で、3年間の空白があったので力を入れてほしい。職業教育、ふるさと教育、あるいは道徳について力を入れていきたい。子どもたちには、坂井市の良さ、挨拶の大切さ、ふるさとのいろいろな地域をよく知ってほしい、住んでいる地域や市全体のことを勉強してほしい、友達を作ること、積極性を身に付けてほしいことを話した。ディスクゴルフの国際大会があった。大会終了後の事業として、市内のみな

らず、市外からもディスクゴルフの体験に来てほしい。ディスクゴルフについて、報告いただいたうえで、いろいろなご意見をいただきたい。

市長 坂井市総合教育会議を開催する。
第二次坂井市教育振興基本計画の進捗状況について、今後の取組も含め事務局の説明を求める。

教育部長 「第二次坂井市教育振興基本計画の進捗状況」について所管課毎に説明申し上げ、市長と教育委員の皆さまで活発な意見交換をしていただけたらと思っている。

(各課長より説明)

市長 ただ今の説明についてご質問、ご意見ないか。橋本委員からお聞きする。

橋本委員 赤ちゃん抱っこ体験学習は、今までもしていたのを再開したということか。

生涯学習スポーツ課長 令和元年まではやっていた。令和2、3年はやっていない。令和4年はオンラインで学習した。赤ちゃんとお母さんが登場し、オンラインでお話をした。

橋本委員 自分では抱っこできなかったのが、今回はできるということか。

生涯学習スポーツ課長 今回も赤ちゃんを抱くことはできないルールではある。

橋本委員 学校に来てくださるのか。

生涯学習スポーツ課長 はい。

橋本委員 いい体験だと思った。

市長 田中職務代理者どうぞ。

田中職務代理者 学級支援員68名の配置に感謝する。しかし、学校訪問で見ていると、十分ではないように感じるので、さらなる配置をお願いしたい。保幼小連携の観点からお願いしたいのは、発達障がい疑われる子の保護者への働きかけ、専門機関での診断、適切な指導をお願いしたい。保育園で働きかけを受けた保護者と、小学校へ入って初めて発達障がいではないかと働きかけを受けた保護者では、反応が違う。保育園では言われなかった、小学校ではなぜそう言うのか、先生方の対応が悪いからではないのか。と、そこから相談へ進まないことも聞いた。そうならないよう、幼少期から疑わしい子の保護者への働きかけをお願いしたい。

市長 その点について何かあるか。

教育審議監 特別支援教育指導員を配置していただいて2年目になる。幼稚園教諭の指導主事1名で対応していたのが、2名体制になった。園訪問が充実してきた。就学児健康診断だけでなく、4歳児の時に保護者と会話する機会を設けているので、少しずつ改善していけばと思っている。

市長 学級支援員68名というのは、児童生徒数に対して、多いのか少ないのか。

学校教育課長 県内では多い方である。トップレベルである。

市長 学級支援員に対する研修というか、気を付けてほしいことなどを伝えることはあるのか。

教育審議監 発達障がいの子を担当する方もいれば、肢体不自由の子を担当する方もいる。学校の中で複数名いても、気を付けるべきことは多様である。

市長 年齢層はどのような方がしてくださっているのか。

教育審議監 30代から70代までさまざまである。

市長 68名の皆さんのお悩みを共有したり、意見交換する場はあるのか。そういうことをすると、こういう時はこうしているよ、というアドバイスも出てくるかと思った。

教育審議監 支援員同士の他校とのつながりはない。異動すれば、前の学校ではこうしていた、という情報交換はあるかと思う。支援員の業務は学校で個別にお願いしており、人数や障がいの程度で変わるので、研修で一概に説明するのは難しい。

市長 一斉に行うのは難しくても、旧町単位などでやってみたらどうだろうか。

教育長 以前は支援員対象の研修をしていた。継続雇用の方が多いので、ある程度資質や力量が高まってきた。支援員のご要望もお聞きしながら、検討する。

田中職務代理者 指導主事学校訪問で拝見するが、適切な支援をしていると感じる。

橋本委員 支援員の配置と、学校の実情が合っていないことも聞き、悩んでいる支援員もいるようなので、見極めて配置をお願いする。教室を飛び出してしまう子はずっと追いかけないといけないし、暴言を吐かれると、心が痛んでしまう。大変なところがあり、難しい。

市長 では、宮崎委員どうぞ。

- 宮崎委員 学校を回らせていただくと、計画的にリニューアルし、恵まれているなど感謝している。ただ、いくつか、樹木の多い学校で、樹木や草が生い茂っているところがある。学校ができた当時の児童生徒数より減ってしまい、敷地面積は同じであるので、用務員一人では管理できないのではないかと感じている。樹木の多少もあるから、学校の要望により、年に1回でも剪定していただけるといいなと思った。
- 市長 今年は150周年の事業をする学校が多い。OBも巻き込んで、地域でやるといいのではないかなと思う。150周年をしない学校はまち協を巻き込むとかやり方はあると思う。もちろん、PTAが主になると思う。また、坂井市の学校が改修してよくなっていることが県内でも知られていないので、もっとアピールするとよいと考えている。教育環境が良いことをアピールすると移住定住にもつながる。樹木管理について事務局から何かあるか。
- 教育部長 新型コロナ感染症の流行で、3年間活動ができなかった影響もある。保護者やまち協の皆様の協力をいただきながら環境整備に努めて行けたらと考えている。行政側も対応できるところはしていく。アピールの足りないところは、機会を捉えてやっていきたい。
- 市長 牧田委員どうぞ。
- 牧田委員 今の話だが、他の市町の小学校へ行かせていただく機会があり、見せていただいたが、施設の設備は坂井市が優れている。質問がたくさんあり、まず一つは、相談件数376件というのはどういうものがあるのか。
- 学校教育課長 不登校生を受け入れている支援センターで受けた相談件数を挙げている。支援センター内にステップスクールというのがあるが、そこへ通うためにはどうしたらいいか、教員と保護者でどういう話し合いをしていったらいいか、というような内容である。
- 牧田委員 ふるさと坂井体験学習事業というのは田植えとかを指すのか。
- 学校教育課長 そうだ。まち協や地域の方の協力を得て行っている。
- 市長 これもアピールするとよい。
- 学校教育課長 例えば、三国西小はらっきょう漬け体験、加戸小はお茶づくりなど地域の人に協力してもらい、その結果はまち協の総会などで発表をしている。子供たちを地域で育てることに力を入れ、昨年度も取り組んだところである。
- 田中職務代理者 せっかくのいい事業は、報道への投げ込みをし、市民に知っていただくのがよい。

学校教育課長 先日も雄島小のサーフィン体験が記事になり、ごみ問題に大関小の児童がコミセンと取り組んでいることはSDGsとも絡めて新聞テレビが取り上げてくださった。報道へのお知らせはしている。PRにも力を入れていきたい。

橋本委員 ふるさとCMづくりはどうか。

学校教育課 それもやっている。県内全域でやっている。

橋本委員 とても上手に作っているので使えるといい。

牧田委員 私たちは指導主事学校訪問の際にタブレットを使っている授業を見られるし、保護者は参観日に見られるのかもしれないが、市民にも見ていただけるといいと思う。民生児童委員をしているので、学校との懇談会の中で、学校開放日に民生児童委員を招待してほしい、と提案したら、校長もありがたいことだ、と、承諾してくださった。タブレットで入力すると、先生の画面で一斉に見ることができて、表示もさせられる、そういう画期的な授業を多くの人に見ていただきたい。

市長 タブレットは毎日持って帰るのか。

教育審議監 毎日ではない。タブレットを使う課題を出したときは持ち帰る。

牧田委員 青少年健全育成のことで、補導員の数が減っている。なぜかなあ、と思った。地域によって温度差があり、そこも統一するといいと感じている。はたちのつどいの参加率が下がっているが、原因が何か聞きたい。

生涯学習スポーツ課長 その前の2年は、3連休の中日に開催した。4年度は連休ではなく、通常の日曜日であったのが影響しているのかなと思っている。実行委員会が頑張っていたら、坂井市らしさのある、はたちのつどいであった。

牧田委員 1月に行うのと3月に行うのとで出席率の違いはあるのか。

生涯学習スポーツ課長 3月にやり始めたころと、1月に行っていたころの出席率は80%前後で変わりはない。

市長 出席者本人たちは3月の方がいいと言っているんだね。

生涯学習スポーツ課長 はい。昨年度、20歳の方にアンケートを取ったところ、学生ですと、春休み期間中なのでいい、という肯定的な意見が多かった。当面は3月に行いたい。

牧田委員 古城マラソンの参加者数は今年は何人を見込んでいるのか。

- 生涯学習スポーツ課長 3, 500人を見込み、試算している。前はコロナ禍の中であり、学校行事として取り上げていただくことができなかった。今回は小中学校へ参加を呼び掛ける。
- 市長 それに関連してだが、地域の祭りに学校は参加しているのか。以前はもっと小中学生が参加していたように思う。学校へマラソン参加の働きかけをするなら、祭りへの参加の働きかけもしてほしい。古城まつりの総踊りに参加して、盛り上げてほしい。
- 生涯学習スポーツ課長 丸岡支所へ、総合教育会議でそのようなお話があったことを伝える。
- 市長 地域の祭りへ参加させることは大事なことだ。伝統行事や芸能を大人が伝えていかないといけない。
- 田中職務代理者 祭りは、大人が参加すれば、子供も参加する。いかに大人に参加してもらうかが大事。大人を抜きにして子供の参加を促すのは難しい。祭りを引っ張る者が不在になってしまう。
- 橋本委員 古城まつりはまち協が関係しているのか。まち協から出てほしい、と依頼されたことがあった。学校へ出てくれとお願いされても、お願いされただけで出る児童はいない。学校の親子行事として学年を決めて、ほとんど強制のようにして参加した。そうすると、先生も休みの日に出なければならない。学校に言われてもつらいと思う。
- 市長 丸岡藩が誕生して400年を来年度に控え、古城まつりを盛り上げたい。コロナ禍があって参加できなかったが、それが当たり前になっているのはよくない。ムーブメントを起こしていかなければならない。教育委員会が指揮をとらないと動かないと思う。教育長はどう思うか。
- 教育長 地域の一員として参加する方向性を見出していかないとよくいかないと感じる。学校でというとハードルが高い。親も子供も地域の活動として出ていく、それを学校が後押ししてくれる、という仕組みがあるといいのではと思う。
- 市長 平章小の子どもたちがエンジ色の法被を着て、総踊りに参加して楽しそうに踊っていたのを今でも覚えている。古城マラソンが参加者数倍増を目指すなら、古城まつりも参加者を増やしたい。児童生徒の参加者数だけのことではないので他のご質問へいく。
- 宮崎委員 龍翔博物館の庭を歩いたら、銅像があり、その説明書が石に彫ってあるが、よく読めなかった。また、パンフレットに、その銅像のことが触れられていない。周りを歩くと目立つので、直していただけたらと思う。

市長 龍翔博物館はいい施設である。パンフレットに写真が入っていないので、次回改訂時には外観の写真を入れるといい。小中学校で今年、全員が行くような計画は入っているのか。

教育長 おそらく、今年度末までにすべての学校で、いずれかの学年が行くことになっている。

市長 全学年というと難しいのか。

教育長 全学年が行ってしまうと、翌年、また同じところかということになる。

市長 そうすると、3年生か4年生が行くことになるのか。

教育長 郷土の生活というカリキュラムがあるから、その学年がふさわしい。

市長 どちらの学年で行くのがいいのか。

教育審議監 4年生だ。坂井市のことを学ぶのは3年生のときだが、福井県全体のことを学ぶ4年生の時に行く方が理解できると思う。

市長 次の議題に移る。「文化財保存活用地域計画の進捗状況とその取組みについて」「丸岡城周辺整備基本計画の進捗状況とその取組みについて」「歴史的風致維持向上計画について」3つ続けて説明をお願いします。

文化課長 (文化財保存活用地域計画の進捗状況とその取組みについて概要説明)

観光拠点整備推進室 (丸岡城周辺整備基本計画の進捗状況とその取組みについて概要説明)

観光交流課長 (歴史的風致維持向上計画について概要説明)

観光拠点整備推進室 (丸岡城天守保存活用計画について概要説明)

市長 文化関係の昨年策定した計画、作成進行中の計画を説明した。ご質問等あればお願いします。

田中職務代理者 文化財保存活用地域計画の中で、地域のお宝としての案内看板を坂井市教育委員会で統一してはどうかと思う。地域のお宝を坂井市としてきちんと把握している姿勢を見せるのが良い。市が指定している文化財について、坂井市教育委員会の名前で案内看板を作るとよい。

文化課長 今年度、看板設置の予定をしている。どこまでのことができるかというところだが、やろうとしている。

田中職務代理者 すぐには言わないから、ぜひ願います。

市長 文化行政は非常に時間のかかる部分がある。取り掛からないと変わらないし、坂井市教育委員会として知らしめていく必要があるし、せっかく作った文化財保存活用地域計画を実行するスケジュール感を持っていないといけない。いくつか進んでいるんだろうが、検証しながら、やることをやっていかないといけない。ほかはよろしいか。

田中職務代理者 丸岡城周辺整備についてだが、樹木の調査をするということだが、丸岡城周辺を庭園として整備をされる場合、庭師などを雇って長期的な庭造りが必要ではないかと思う。これが1点目。次に、水盤にはお城が映るのか、と聞かれる。実際どうなのか。桜が邪魔になるところも出てくるのかと思うが、そこは桜を切らないといけないのか。

観光交流課長 1点目の植栽の計画について、植栽の調査をかけている。城郭研究の第一人者である中井先生にアドバイスいただいた。切ることによって崩れるところもある。切っていいものといけないものを慎重に計画を立てながら、丸岡城天守保存活用計画の中で示していく。文化庁からも同様のアドバイスをいただいている。合わせて、桜のことだが、城山に植えてある桜は樹齢60～65年を迎えている。桜の寿命は70年程度と言われている。今後、腐ったり枯れたりしていく。丸岡城は、桜の名所百選に入っている。桜の配置について、植栽計画の中で桜が途切れなく、切ったり植えたりを考えている。2点目の水盤については、何度かシミュレーションをしており、コンピューター上、水面に映る、という設計者の判断である。

田中職務代理者 年間来場者100万人を目指すというのは大きくないか。

観光交流課長 コロナ禍前で、丸岡城天守と一筆啓上茶屋へ年間40万人来場いただいていた。新幹線開業後は、2倍を目指したい。丸岡町の中心街が元気がないので、2倍を目指すことで、元気を取り戻していただこうという思いで、そのような計画にさせていただいている。

田中職務代理者 お城だけでなく、目玉となるものがあれば来ていただける。一番の目玉は食欲だ。丸岡城から話は離れるが、東尋坊の西陽の作用は人が来ると聞いた。そういうものと食と関連付けたり、丸岡城もあらゆる方面と結び付けてやっていっていただけたらと思う。防災関係、城の中に人が常駐すると書かれている。今だと、平日は券売所に人がいない。入ろうと思えば、券を買わなくても天守の中に入れる。常駐するのであれば、券を買ってくださったかを確認する人と兼務するとよい。常駐するのであれば、冬は、寒さ対策をしなければ、いることができない。そういうことも防災と関連して工夫していただけるとありがたい。

市長 いただいたご意見で我々が考えていることもあるし、これからというものも

ある。その都度報告させていただく。では、ジャパンオープンディスクゴルフ2023の報告をお願いします。

生涯学習スポーツ課長 (ジャパンオープンディスクゴルフ2023を終えての事業報告)

市長 報告書にDVDをつけるといい。プレーの動画でなく、大会の記録としての動画をつけるるとよい。

生涯学習スポーツ課長 はい。

市長 ほかにないか。

宮崎委員 国際交流事業についてだが、再開を願っている保護者の声を耳にする。4年前の派遣事業の際、団長を務めていた。事前研修が全て終わった時点で、派遣中止となってしまった。子供たちにはその判断を受け入れてもらうしかない、つらい経験をした。坂井市の派遣事業は、他の市町の派遣事業とは全く異なっており、事前研修が充実している。行けなかった子供たちの解団式を半年後にしたが、行けなかった不満を口にするのではなく、頑張った研修の間に得たものに対する感謝の気持ちを述べていた。現地へ行けたら最高だが、その事前研修に得るものも本当に大きいんだと感じた。我が子を行かせていただいた一保護者としても、子供が変わっていくことを痛感した。若者が夢に挑戦することが難しい時代に、坂井市のおかげで挑戦できる素晴らしい事業を是非再開してほしい。交流先との絆も先送りにしていると途切れしてしまうかもしれないのでお願いします。

市長 他市町の状況や周りの人のご意見も聞いて、検討する時期ではないかと思っている。やり方も含め、検討していきたい。それでは、時間も来たので本日の会議を閉会する。